

令和7年8月

# 魚津市定例記者会見

日時：令和7年8月1日(金) 午後1時30分～午後2時

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、北陸中日新聞、富山新聞社、  
読売新聞社、富山テレビ放送、チューリップテレビ、  
NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、情報広報課長



## 1 市長からの発表事項

### (1) 「魚津市ふるさとワーキングホリデー」の実施について（地域協働課）

魚津市のふるさとワーキングホリデーの実施のご案内です。県外在住の大学生さんをターゲットに市内の事業所で働きながら地域暮らしを体験してもらう内容です。魚津の関係人口創出・拡大や将来のUIJターン人口の増加にも繋がりたいと考えています。

昨年度は夏から冬にかけて随時ワーキングホリデーを実施しておりましたが、今年度は空き家を活用して合宿形式で実施し、体験する学生さん自身の交流も行ってもらいたいと考えており、実施期間を夏休みと春休みに限定し、学生さんも参加しやすいように設定しております。

#### ア 実施期間

令和7年8月23日（土）～令和7年9月7日（日）

#### イ 内容・場所

- ・受入事業所で働きつつ、地域暮らしを体験し、地域住民との交流を通じて、魚津に愛着を持ってもらう。また、魚津市を就職先や移住先としても考えてもらう。
- ・受入事業者の元で就業体験、地域住民との交流等（YUZAWAFARMでの芋掘り・SUP体験）
- ・受入事業者

（株）第一興産、（株）NOROSHI FARM、（有）源七、中島果樹園、魚津市定住応援室

#### ウ 募集対象者

富山県外在住の大学生（2年生、3年生）

#### エ 募集定員

5、6名

#### オ その他

春休み期間（2月～3月）にも、受入先を変更し、実施予定

**(2) 「第40回井原市友好親善都市児童交流事業出発式」の開催について（生涯学習・スポーツ課）**

第40回井原市友好親善都市児童交流事業の出発式を、明日8月2日（土）の午前9時半から、市役所の正面玄関前で行います。

児童と引率者は20名、関係者10名ほどの参加を予定しています。日程については、8月2日から4日までの2泊3日になります。

近年の交流状況は、1年ごとに児童の派遣と井原市から来られる児童を受け入れており、昨年度は井原市から来ていただいたので、今年度は井原市へ派遣します。※詳細は資料のとおり。

**(3) 「2025 T J A R（トランスジャパンアルプスレース）講演会 in UOZU」の開催について（生涯学習・スポーツ課）**

2025 T J A R（トランスジャパンアルプスレース）の講演会のご案内になります。T J A Rは隔年開催のため、今年はレースがないので講演会を開催します。 ※以下資料に基づき説明。

**(4) 「ごみの分別、LINEで簡単検索！」魚津市LINE公式アカウントに「ごみ分別検索機能」を追加について（生活環境課、情報広報課）**

魚津市のLINE公式アカウントにごみ分別検索機能を追加しました。市の公式LINEの登録者がそれなりにたくさんいらっしゃいますので、チャット形式で、手軽に分別を調べていただけるような仕組みを導入しました。 ※以下資料に基づき説明。

**(5) 地域協働課クラウドファンディング（地域協働課、企画政策課）**

たてもん祭りに関する応援プロジェクトについて、ふるさと納税クラウドファンディングを実施してありましたところ、102万1,500円集まり、目標金額の100万円を達成することができました。いただいた皆様に心から感謝申し上げます。 ※以下資料に基づき説明。

## 2 質疑応答の内容

### ○富山地方鉄道について

#### 《記者からの質問》

富山地方鉄道（株）の滑川-新魚津・岩峠寺-立山間の廃線方針についてお聞きになって、市長のお考えやどのように受け止めているかについてお聞きします。あわせて、滑川-新魚津駅間の存続について、その必要性などお聞かせください。滑川市が令和8年度については基本支援していく方向で考えていきたいと聞きましたが、魚津市のスタンスは令和8年度に関してはいかがでしょうか。富山県や富山市に主体的に舵取りしてほしいなど思いはありますか。

## 《市長回答》

7月に富山地方鉄道（株）の担当者が魚津市役所に来られまして、市の担当者にお話があったと聞いています。廃線するには1年前に手続きをしないといけないので、仮に行政から支援が見込めないということであれば、廃線も視野に入れて考えないといけないということをお伝えしたい、という内容だったと聞いております。前回の分科会では、3市1町でいくつかのパターンに分けて調査を行い、その調査結果を踏まえて中長期的な運営のあり方について検討していこうとしておりました。ただ、そこまでは富山地方鉄道（株）が待てないだろうということで、秋頃に中間報告をまとめ、それを踏まえて、令和8年度の支援についてどうしていくか考えましょうという整理でした。

市としては、関係市町と協議しながら秋頃までに何らかの判断をしていきたいと考えています。

富山地方鉄道（株）からの廃線手続きに入るというお話については、前回のあり方検討会では秋の調査結果を待って令和8年度の支援を決めて行きましょうというお話でしたので、もう廃線手続きという話が出るのか、という感触は少し持ちました。市民の皆さんにもきちんと話をしていかなければならないテーマですので、それを待たずに決めていくのはいかがなものかなと思います。

滑川－新魚津駅間の存続については、必要としている利用者がいらっしゃるということが事実としてあります。学生さんが多いと思いますが、市としてどういうふうな対応を取れるか考えないといけないと思っています。路線そのものの必要性については、調査の結果を踏まえて判断したいと思っています。

令和8年度のスタンスについては、関係市町と協議していますので、基本的には支援していく方向ではありますが、やはり調査を進めている最中ですので、今後の対応についてははしかるべき時期に判断しようということになります。

富山県や富山市に主体的に舵取りしてほしいということについては、やはり富山県の方には主体的にこの話にかかわってほしいと思っています。支援についても市町村だけではなく、当然、富山県にも一緒に応援して欲しいという思いがあります。

## ○魚津市の渇水状況について

### 《記者からの質問》

7月30日に渇水対策本部を設置したが、魚津市の渇水状況についてお聞きします。

### 《市長回答》

山手の方にある水田については、かなり厳しい状況になっております。本当に深刻なところについては、農地の所有者と協議して今日から給水を開始しています。そこまで今は深刻ではないけれど厳しいところについては、番水ということで、用水の水を順番に分け合って配水する対応を取っております。更に、ため池の水がかなり減ってきているところがあり、今はまだ大丈夫ですが、今後水不足が続いていくと非常に厳しい状況が予想されるので、早めに手当ができるような準備をしているところです。

## ○未来高校富山甲子園出場への対応について

### 《記者からの質問》

66年ぶりに蜃気楼旋風ならぬ甲子園出場ということで、今、未来高校富山が盛り上がっていると思いますが、現地に行かれる予定はありますか。また、現地に行きたい方への計画などありますでしょうか。

### 《市長回答》

日程等可能であれば、ぜひ応援に行きたいと思います。今、民間主体で応援バスを企画していただいております。バス10台を確保して、広く市民の皆さんに呼びかけていこうと計画されています。ぜひ、多くの方に周知してもらって、一緒に応援に行くことができればいいなと思っています。市としても未来高校富山への応援体制をとり、取り組んでいきたいと思っています。